

下記の通り、誤記がありましたので訂正いたします。

頁	訂正箇所	誤	正
78	上から 4行目	<p>D : 正しい</p> <p>亜硫酸塩系脱酸素剤は、約 280℃以上で熱分解し、硫酸ナトリウム (<math>\text{Na}_2\text{SO}_4</math>) や二酸化硫黄 (<math>\text{SO}_2</math>) を発生し、腹水pHの低下や腐食の因子となる。このため蒸気圧力 5.0MPa 以上のボイラーでの使用は避けるべきである。</p>	<p>D : 正しい</p> <p>給水中の溶存酸素は、金属材料を腐食させる主な不純物である。一方、銅表面に薄い、ち密な難溶性の酸化鉄（ヘマタイトなど）の被膜を保持する目的で、高純度な給水中に微量の酸素を溶存させる酸素処理がある。</p>